

事務事業評価における総括

部 局 名	市立病院事務局	記入責任者	内藤 喜之
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>市立病院事務局としては、おおむね順調に事務事業が進捗しています。</p> <p>病院総務課では、「災害応急活動」「庁内共通事務」「部内共通事務」を除く、事務事業 20 事業すべてを S 評価としています。</p> <p>医事課では、「災害応急活動」「庁内共通事務」を除く、事務事業 27 事業すべてを S 評価としています。</p> <p>しかし、施策指標で示す病院経営状況を表す経常収支比率、医業収支比率ともに前年度より下がっており目標を達成することができない状況です。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>病院事務局において事業評価はすべて S 評価であり、順調に事業が実施できたと考えます。しかしながら、病床利用率を上げ入院収益を上げる取組や新たな施設基準の取得など安定的な収益確保のための取り組みを行い、最終的な事業収益も前年度比 5.4%の増となったが、給与費の増加や高額医薬品の購入増による材料費の増加などにより、事業費用も増加しており、経常収支比率、医業収支比率ともに目標を達成できず、経営状況は良くなっていません。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>地域における基幹病院として良質な医療を継続的に提供していくため効率的な経営を求められており、経費節減や収入の確保に積極的に取り組み経常収支比率及び医業収支比率を上げていきます。</p>			